

東邦銀行 教育・文化財団の活動 ..... 2  
 新たな助成の創設および募集要項の改訂について／奨学金事業について  
 助成金交付先対象団体と活動（平成26年度下期文化・スポーツ活動ほか）

原郷のこけし群 西田記念館の展示（報告／案内） ..... 4  
 かがやく FLASH 平成25年度下期助成団体の活動から ..... 6  
 会津そらの会  
 喜久田ミニバスケットボールスポーツ少年団

SPOTLIGHT TALK「北萱浜の神楽と天狗舞」 ..... 8  
 北萱浜神楽愛好会（南相馬市原町区）



**SPOTLIGHT** はじまりの「天狗舞」  
 北萱浜の天狗舞（南相馬市）

南相馬市原町区北萱浜地区には、ほかでは見ることのできない貴重な「天狗舞」が「北萱浜神楽愛好会」の人々によって伝承されてきました。しかし先の大震災では95戸の集落のうち65戸が津波で流され、愛好会の会長を含む53人の方々が犠牲になりました。さらに原発事故により北萱浜の人々はちりぢりとなり、その継承が危ぶまれました。それでも、辛うじて流失をまぬがれた鎮守稲荷神社の修復を機に愛好会会員は再結集。震災から3年後の2014年3月16日、社殿修復落成記念の祭りで「天狗舞」の奉納を復活させました（写真は「天狗と獅子の剣舞」）。

公益財団法人 東邦銀行 教育・文化財団  
<http://www.tohobankkyoikubunka.jp/>

## 脈打つ先駆精神、絶やさず子らに!!

きたかいばま  
**「北萱浜の神楽と天狗舞」**  
 北萱浜神楽愛好会（南相馬市原町区）



北萱浜神楽愛好会会長 山本昭彦さん。本来は三役を置きたいが当面は一人で兼ねるしかない状況だという



北萱浜稲荷神社での練習風景。囃子は笛3と大太鼓・小太鼓各1（それぞれ社壇と呼ばれる台に据えて一人で打つ）

**大災害の中から取り戻す**

神楽の練習会場でもあった北萱浜公会堂（神社から浜へ600メートルほど下った場所）に保管していた用具・楽器一式は、建物ごとさらわれた。会員らの被害も文字通り甚大だった。

当時、北萱浜神楽愛好会の会長をつとめていたのは浅倉博之さん。その彼とは「歳も近かったので良いことも悪いことも競い合ってやってきた。その浅倉君がこういってとで亡くなってしまったので」と現会長の山本昭彦さん。彼の志は自分が継ぐしかないと思っただけ。

山本さんは自分の家が神社の目の前だったこともあって、神楽への愛着も強い。その家は津波で流されたが、神楽の伝承に思いを定め、迷わず同じ場所に再建した。

「子どものころから先輩らが演るのを当たり前にあるものとして見てきた。でも自分らが演るようになってから、とても珍しいものなんだと聞かされた。オレが珍しいのかわからなかったんですが、他の地域の神楽も意識して見るようになりました」。この貴重なものを自分たちの代で絶やしたくない、会長を買って出たもう一つの理由だった。

会員らの気持ちが一段落したころ合いをみて声をかけた。「今後の活動をどうする?」。何とかできるものなら残していきたいという会員の気持ちが確かめられた。何とかするのは「まず用具の新調。その費用の支援先を懸田弘訓さん（県文化財保護審議会委員）に相談しました。文化庁と



天狗跳び! このような動きが随所に取り入れられて見せ場となっている。天狗役に若さが求められるゆえんだ

福島県の補助が受けられることになり用具調達の目当てがついた。

問題は人だった。気持ちに一区切りついたとはいえ、会員らが被った、言葉にならないほどの被害はなくなり。また、主役の天狗を舞っていた会員は避難先の千葉県で新しい生活に入っていた。あてにするのは無理と判断、昨年11月から再開した練習では急遽、吉村真彦さんが舞うことになった。「天狗は若い人じゃないと無理なんです。舞ったことがある人はいるんですが、動きが激しいのもう息が続かない。でも吉村君だって、なんぼになった? 38? もっと若い人に受け継いでいかないと」と山本会長。

**ルーツは越後か越中か**

江戸時代、天明の大飢饉で全人口の約3分の2を失った相馬藩は、文化年間から弘化年間（1800年代前半）継続的に移民政策を実施した。北陸諸藩（現在の新潟・富山・石川・福井など）各県から、合わせて1万人前後が入植したといわれる。「天狗舞」はその入植者がこの地に伝えた。嘉永元年（1848）に50戸が越後から

入植、そのおりに悪魔退散のために舞ったものともいわれる。まさに大災害からの復活と新生に身一つで挑んだ、祖先たち渾身の「はじまりの舞」だったのだ。

「北萱浜の神楽と天狗舞」は、「神楽」「剣舞」「天狗舞」から成る。その三つ目の「天狗舞」が「北萱浜の天狗舞」（南相馬市指定民俗文化財）だ。これもまた「から手舞」「幣束舞」「天狗と獅子の剣舞」の三部から成る。俗に「天狗と獅子の喧嘩」といわれる剣舞の立ち回りが見せ場で、一般には悪霊を退散させる霊獣であるはずの獅子がここでは悪さをなすものとなり、それを天狗が調伏する。

「ふるさとの祭り2014」（10月4・5日、福島市「四季の里」）に向けた練習を見た。全体で40分前後かかる「天狗舞」を、喧嘩を中心に15分ほどに短縮したものだ。だが、舞い終えた吉村真彦さんの息が上がっていた。「いやあ、今年3月に舞って以来なんです、体力やバイですね。また走り込まなくては」と反省。家は菅浜なので神楽は知っていたが、天狗舞の存在は愛好会に入ってから初めて知ったという。そして、舞うからには「もっと高くジャンプする! ふうつかずに見せ場をつくる!」と意気込みを弾ませた。

「ふるさと」とは、また「きずな」とは、否心なく立ち合わされた過酷さを凌いでゆく合間に見出された喜びをより合わせ、編み上げ共有された過去というもつとも確かな支えのことだったか……そんな思いをかき立てられる「北萱浜の天狗舞」だ。

**編集後記**

今年度、新たな助成として〇地域の活性化に貢献する文化活動〇高校生対象の文化・教育研究活動を創設いたしました。いずれも自主的、独自の、継続的に活動し、地域とのコミュニケーション、活力を生み出している団体を幅広く応援していきたいと考えております。

今年の十三夜は10月6日でした（片見月は縁起が...）。因みに供えたすすきを月見の後に軒につるしておくと一年間病気をしないそうですのでご自愛を! (KK)

かがやく ⑤ 平成26年10月10日発行  
 発行所 公益財団法人 東邦銀行 教育・文化財団  
<http://www.tohobankkyoikubunka.jp/>  
 〒960-8041 福島市大町4-4  
 電話 024-523-5882 FAX 024-523-3265  
 発行人 鹿野 幸一 ©東邦銀行 教育・文化財団  
 制作 株式会社 進和クリエイティブセンター  
 印刷 株式会社 日進堂印刷所



**TOPICS** **新たな助成の創設および募集要項の改定について**

当財団は平成5年に設立以来、県内の文化とスポーツの振興を目的とする助成事業を行っておりますが、今般新たに二つの助成を創設いたしました。

**I. 新たな助成の創設**

**1. 地域の活性化に貢献する文化活動**

(1) 創設の趣旨  
県内のアマチュアを中心とした文化団体で、地域の活性化に貢献することを目的とした左記文化活動を継続して活動している団体を当財団が随時選んで助成、支援いたします。

**(2) 助成の概要**

- A. 対象となる活動**
- (a) 地域に根ざした伝統文化（民族芸能）や郷土の歴史、食文化等の保存と伝承、後継者の育成活動
  - (b) 子供たち（児童、生徒）の健全育成を図るための、まちづくり活動、自然保護、環境保護のための活動等

**B. 選考方法**

- (a) 随時、当財団でその活動内容、実態を確認した上で選出いたします。
- (b) 審査委員会の審査を経て、理事会で決定（毎年3月、9月予定）いたします。

**(3) 助成金額**

一件あたり5万円～10万円を目途に対象に応じその都度個々に決定いたします。

**2. 高校生対象の文化・教育研究活動**

**(1) 創設の趣旨**

福島県の復興の原動力となっていく県内の高校生（高専は3年生までに限る）を対象に、「文化・教育活動」面での自主性、独自性を生かした活動を幅広く支援助成いたします。

**(2) 助成の概要**

- A. 応募資格**
- (a) 県内高等学校（高専は3年生までに限る）に在学する生徒によって構成、活動している共同研究グループ、同好会、愛好会等（複数校による構成可）

**B. 対象となる活動**

- (a) 共同研究グループ等でのユニークな研究や活動
- (b) 生徒たちの自主的な社会貢献活動、環境保護活動等
- (c) その他、地域とのコミュニケーションを構築する活動等

**C. 選考方法**

- (a) 特に申込み受付期間は設けず、高等学校（含む高専）の学校長の推薦を受けた申請であれば、年間を通じて随時受付いたします。
- (b) 審査委員会の審査を経て、理事会で決定（毎年3月、9月予定）いたします。

**(3) 助成金額**

- A. 一件あたり5万円～10万円を目途に対象に応じその都度個々に決定します。**
- B. 審査において特に優れていると認められた活動については、3年以内の継続助成とすることがあります。**

**II. 募集要項の改定**

前記、新たな助成事業創設にともない、現行募集要項を左記のとおり改定しました。

改定後	改定前
募集要項 I	募集要項
I. 文化・スポーツ活動 II. 地域の活性化に貢献する文化活動（新設）	
募集要項 II（新設）	
I. 高校生対象の文化・教育研究活動	

**募集要項の一部改定**

改定理由：現行基準の「対象経費」を見直し、通常活動に係る経費を認めることで、申請し易くしました。

詳しくは、当財団ホームページ「募集要項Ⅰ・Ⅱ」をご覧ください。

**TOPICS** **助成金交付先対象団体と活動**

東邦銀行教育・文化財団の助成金交付先対象団体について、1. 平成26年度下期文化・スポーツ活動（平成26年10月から平成27年3月までの期間に実施予定の文化・スポーツ活動）は次の21団体（助成金額250万円）、2. 地域の活性化に貢献する文化活動は次の1団体（助成金額10万円）、3. 高校生対象の文化・教育研究活動は次の4団体（助成金額40万円）に決定しました。（助成金総額300万円）

1. 平成26年度下期文化・スポーツ活動（決定）団体と活動名（文化11団体・スポーツ10団体）

団体名	助成対象活動名	開催日・開催場所
福島県歌人会（福島市）	第62回福島県短歌祭	H26.10.19(日) グリーンパレス
北斗の会（福島市）	「福島自由人」第29号発行	発行日/H26.11.1(土)
福島県写真連盟（福島市）	第42回福島県写真展	H26.11.18(火)～24(月) 福島県文化センター
男声合唱団トリンクリート（福島市）	メサイア全曲演奏会	H27.2.8(日) 福島市音楽堂大ホール
みんなで歌う第九の会（郡山市）	みんなで歌う第九の会(第2回特別演奏会)	H26.12.23(火・祝) 郡山市民文化センター
郡山男声合唱団ドンカラック（郡山市）	郡山男声合唱団ドンカラック創立15周年記念演奏会復興祈念	H27.3.14(土) 郡山市民文化センター中ホール
郡山マンドリンクラブ（須賀川市）	第13回 定期演奏会	H26.11.22(土) ポラリス保健看護学院内
ときわグリーン・ハーモニー（田村市）	ときわグリーン・ハーモニー16周年記念演奏会	H26.11.30(日) 田村市文化センター
会津葦名一族研究会（会津若松市）	至徳元年黒川城築城630周年事業	H26.11.17(月)～18(火) 会津稻古堂1Fホール&G
会津第九の会（会津若松市）	会津「第九」演奏会2014	H26.12.21(日) 會津風雅堂
女声合唱団月曜コール（いわき市）	女声合唱団月曜コール 第21回定期演奏会	H26.11.8(土) いわき市文化センター 大ホール
国見ソフトボールスポーツ少年団（伊達郡）	第29回国見町ソフトボールスポーツ少年団駅伝大会	H.26.11.16(日) 国見小学校校庭
二本松ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団（二本松市）	二本松ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団創立20周年記念 第15回まゆみカップ	H.26.11.29(土)・30(日) 二本松市城山第二体育館
桜スポーツ少年団ソフトボール部（郡山市）	桜スポーツ少年団ソフトボール部40周年記念大会	H.26.10.12(日) 湖南スポーツ広場他
行健バレーボールスポーツ少年団（郡山市）	行健バレーボールスポーツ少年団20周年記念大会	H.26.11.2(日) 明健小 行健第2
青空会父兄会（郡山市）	第22回青空会会旗争奪ソフトボール大会	H.26.11.8(土)・9(日) 田村スポーツ広場
郡山カーリングクラブ（郡山市）	一般県民、地域住民に広く参加機会を与える活動	H.26.11～H.27.3 磐梯熱海アイスアリーナ
須賀川牡丹ソフトボールスポーツ少年団（須賀川市）	第17回牡丹杯親善ソフトボール大会	H.26.10.18(土)・19(日) 須賀川市民スポーツ広場他
郡山ブレインズ（田村郡）	郡山ブレインズ記念交流大会	H.26.11.9(日)・16(日) 三春野球場 他3球場
ほおの木ソフトボールスポーツ少年団（喜多方市）	第9回ほおの木杯児童ソフトボール大会	H.26.10.5(日) 喜多方市熱塩加納町G
いわき市レスリング協会（いわき市）	設立記念(いわき市レスリング協会5周年記念)大会	H.26.11.1(土) クリナップ(株)井上記念体育館

2. 地域の活性化に貢献する文化活動（決定）団体と活動名（1団体）

団体名	助成対象活動の内容	活動場所
黒岩春日神社雅楽部	黒岩春日神社祭礼時御神楽の奉奏、各種団体の要請により演奏・雅楽稚児舞を披露。	黒岩春日神社の御神楽奉奏、各地域の式典やイベント等で雅楽を披露

3. 高校生対象の文化・教育研究活動（決定）団体と活動名（4団体）

団体名	助成対象活動の内容	活動場所
県立好間高等学校 フラサークル「ウイラニ・オーラバ」	年間を通じてフラダンスの活動を実施。仮設住宅慰問 老人介護施設訪問 地域復興イベント参加。	いわき市内を中心
県立二本松工業高等学校 コンピュータ同好会	ロボットコンテストの出場を目指してロボット製作。	当校の部室を借用して活動
県立二本松工業高等学校 地域支援同好会	特別支援学校の話聞いて、障害を克服することができる治具の開発。	当校の部室で活動
県立会津高等学校 剣舞委員会	昭和28年より白虎隊墓前祭において剣舞の奉納を実施。	会津若松市飯盛山

**TOPICS** **当財団の奨学金事業にCSN**

**1. 奨学生採用状況**

平成26年度奨学生33名を採用、昭和58年から現在まで417名に奨学金を給付いたしました。（平成24年に当財団が（財）東邦育英会を引き継ぎました。）

**2. 平成26年度奨学生の抱負・目標（近況報告より）**

- ・サークルに入り活動し、また休暇を利用してボランティア活動に参加したい。
- ・オーストラリアやヨーロッパに海外留学してみたい。
- ・アルバイトをし、「働く」ことを身をもって体験したい。
- ・社会人として、国や社会の人に役立つ大人になりたい。
- ・教員となり、地元福島のために力になりたい。

**3. 平成27年度奨学生の内定について**

平成26年9月の理事会で、平成27年度奨学生15名を内定いたしました。

**4. 奨学生の募集**

平成28年度の新規奨学生の募集は、平成27年5月の予定です。

★お問い合わせは…公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団事務局 奨学金担当  
TEL: 0244-523-5882までお願いします。





原郷のほほえみ

原郷のこけし群 西田記念館  
福島市荒井字横塚 3-183 (アンナガーデン)  
TEL 024-593-0639 / FAX 024-593-0811  
http://nishidakinenkan.or.jp/

企画展報告 ■平成26年4月～7月

# 「土湯こけし 昭和戦後の作品展」

一堂に紹介しました。

## ■昭和戦後のこけし人気と土湯

現在、家庭にあるこけしは昭和戦後に作られた作品が多く見られます。この頃は全国的にこけし人気が高まった時代で、各地でこけし愛好家の活動が盛んになったり、百貨店でこけしの展示・即売会が行われたりしていました。こけし工人の数も現在よりずっと多く、福島市の土湯温泉では温泉街のあちこちにこけし工房が見られ、たくさんのかげしが作られていました。

近年、部屋にこけしを飾る家庭は少なくなりましたが、こけし産地の東北では玄関や茶の間にこけしが飾られている風景はまだまだありふれています。その一方、家庭のこけしがどんな作品であるかは意外と一般には知られておらず、控えめにそとで微笑むこけしたちは何気なく私たちの生活空間に溶け込んでいるのかもしれない。今回の企画展では、私たちの周りにおける身近な昭和戦後の土湯こけしを



小幡福松

戦後まもなく、土湯は山村の湯治場の雰囲気を残す温泉地で、昔ながらの古い宿が立ち並んでいました。しかし、昭和29年に土湯村大火が起こると旅館や共同浴場などが焼失し、村の総世帯数の半数が罹災する壊滅的な打撃を受けました。このため、土湯村は昭和30年に福島市と合併をして早期復興を図り、都市計画に沿った道路・橋の新設、旅館の建築などを進めました。そして火災から2年後の昭和31年、土湯は近代的な温泉街へ変わり、新たな温泉地として復興を果たしています。

一方この頃こけしは「新型こけし」の進出が始まり、伝統こけしより高い人気がありました。「伝統こけし」は東北の風

土に根ざして受け継がれてきた型を1人の工人が木地から描彩まで仕上げるのに対し、「新型こけし」は新たにデザインされた作品を工場などで複数の人が分担し、量産するものでした。新型こけしは人気の高まりと共に競って斬新なデザインが求められ、昭和20年代より全国で様々な作品が作られるようになりました。しかし、伝統こけしは人気が低迷してゆき、伝統こけし工人たちは木地製品や新型こけし作りなどに携わるようになっていきました。福島でも昭和20年代は伝統こけしを作る工人は少なく、伝統こけし工人として知られる佐久間由吉・芳衛親子



佐久間芳雄

(敬称略。以下同様)は主に家具の部品や木型作りを行っていました。

しかし、昭和20年代終わり頃になると伝統こけし回帰への動きが始まり、古くから受け継がれるこけし本来の姿が見直されるようになってきました。昭和28年、伝統こけしの愛好会「東京こけし友の会」が発足しました。東京こけし友の会は翌29年に三越日本橋でこけし展を開催し、忘れられようとしていた伝統こけしの姿を広く一般に紹介しました。また、鳴子町(現在の宮城県大崎市)では昭和23、



阿部広史



佐藤佐志馬

27、28年と開催されていたこけし祭りを昭和32年以降毎年開催することとし、産地からこけしの関心を高めようとする動きも始まりました。この他にも、昭和31年に一般向けのこけしの本『こけし』(西田峯吉・土橋慶三共著 美術出版社)が出版されると、伝統こけしの真の姿が少しずつ世間に知られ、その魅力が見直されるようになり、昭和40年代をピークとする第2次こけしブームへと発展していきます。

こうした中、新たな温泉地と

なった土湯では、伝統こけし人気が影響を受けてこけし作りを開始・再開する工人が1人また1人と現れるようになりまし

た。昭和35年になると12人の工人が集まって土湯こけし工人組合が発足され、初代組合長には阿部広史、副組合長に佐藤佐志馬が選ばれています。結成当初、工人組合ではこけし用材の共同購入や、技術向上の研修、情報収集の他、福島駅ビルでのこけし売店の経営なども行われていました。

昭和48年になると土湯こ



薬師こけし堂

けし工人の間で木地師の祖惟喬親王を祭るこけし堂建立の機運が高まりました。その一方、土湯では大正2年に洪水で流失した薬師堂再建という永年の望みもあつたため、二つの信仰を習合した「薬師こけし堂」建立が検討され、計画がすすめられていきました。そして昭和49年11月、薬師こけし堂は念願かなって落成式を迎え、翌50年4月には薬師こけし堂の祭典も行われました。この祭典は土湯こけし祭りとして年々盛大に行われるようになり、今年には39回目が開催された全国でも代表的なこけし祭りの一つとなっています。

## 開催中の展示

「鳴子こけしの町の魅力」  
平成27年1月20日(火)まで  
地階第一展示室

※最終日は午後3時まで

こけしを大切な文化的・観光的財産として育ててきた鳴子は、戦後のこけし人気が高まりと共に「こけしの町」として発展してきました。また、毎年9月に開催する「全国こけし祭り」は各地のこけし祭りの中でも歴史が古く、今年には第60回という記念の年を迎えました。今回の企画展では、戦前の鳴子こけしを中心に古作こけし約330点を紹介しながら、こけしの町・鳴子の魅力を歴史、祭り、人など様々な角度から紹介しています。

## 木地玩具「コーナー」 「音を奏しむ木地玩具」

平成27年4月21日(火)まで

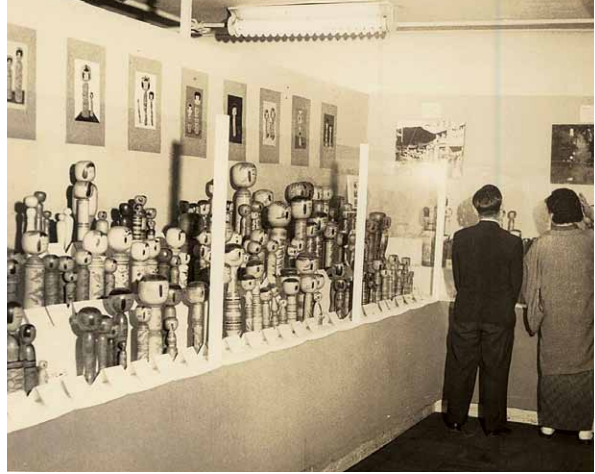
鳴りこま、人形笛、唐人笛、でんでん太鼓など、こけし工人が作る音を出して遊ぶ木地玩具約75点を紹介しています。

## 《企画展予定》

### 「ぶくしまのこけし」

古名品とその系譜

平成27年1月下旬～4月上旬



昭和29年三越日本橋のこけし展



東邦銀行教育・文化財団では、平成27年4月から9月までの期間内に活動計画がある文化・スポーツ団体を対象に、平成26年11月1日～12月26日まで助成申請の受付を行う予定です。

▶詳しくは当財団のホームページの「文化・スポーツに対する助成事業」をご覧ください。  
事務局 ☎ (024) 523-5882 までご照会ください。

東邦銀行教育・文化財団では、文化とスポーツの振興を図るため、地域に密着した活動をする団体に助成を行っています。その中から今回は会津若松市の「会津そらの会」と、郡山市の「喜久田ミニバスケットボールスポーツ少年団」の活動をご紹介します。

平成25年度下期  
助成団体  
「文化部門」

会津そらの会  
宇宙に夢中！  
日本の宇宙開発とその未来

平成25年11月17日(日)・福島県立博物館講堂(会津若松市)

「未来の夢と希望を  
感じてもらいたい！」

プラネタリウムや科学館が無い会津地域で未来を担う子どもたちに、惑星探査機「はやぶさ2」を通して大きな夢を与えたい、未来の夢と希望を感じてもらいたい、会津大学はもとより福島県内の企業が「はやぶさ2」を支援していることを知ってもらいたい——と企画された宇宙フェアです。展示品には貴重なものもあつたことから、協力を得た県立博物館と人念な相談を重ねたほか、関係団体からの印刷物や展示ケースの提供など、多くの協力によって実現されました。

当日は、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所の准教授で、はやぶさ2のミッションマネージャー・吉川真さんによる『日本の宇宙開発とその未来』と題した特別講演と映画『はやぶさ2』の上映会のほか、工作教室やイラストの展示等のお楽しみイベントも用意されました。参加した子どもたちは「はやぶさ2のミッション



「はやぶさ2」実物大模型(エントランスホール)とはやぶさ支援企業(藤倉航装)製の帰還パラスニュート(奥上部)

は私たちの生命の秘密を探るため！という話を聴いて、ワクワクしてしまいました！「実物大のはやぶさ模型に驚いた！本物の隕石は持ってみたいら想像よりずっと重く、講演は画像沢山でミッションの説明がわかりやすかった」などの感想を寄せて、そらの会の会員を喜ばせました。そして会員が「は

やぶさ2が2020年に帰還するころ皆さんは大学生や社会人になっていると思います、私たちと一緒に研究してみませんか」と呼びかけると、自分の将来に「はやぶさ2の飛行をかさねあわせながら、未来の宙に思いを馳せている様子でした。

手作りではやぶさの  
実物大模型を展示！

会津そらの会の皆さんは、「はやぶさ2の実物大模型を手作りすること」に挑み、当日を迎えました。手書きの図面で、必要な段ボールの量を計算するところから始めた大掛かりな制作は、苦勞の連続だったのですが、無事、4.5m×6m×2.5mの大型模型がエントランスホールを飾り、来場者を迎えました。また、あわせて展示された福島県内の「はやぶさ2」支援企業の展示品を通して、子どもたちは、地元企業も宇宙開発に携わっていることを実感できたようでした。

代表者の知元陽子さんは、「宇宙は遠いところにあるのではない、自分たちが宇宙の一部なのだという大きな心で感じ、知ってもらい、子どもたちが、前を見て、未来を考える際の手助けになればと思います。またこの冬打

平成25年度下期  
助成団体  
「スポーツ部門」

喜久田ミニバスケットボールスポーツ少年団  
復興支援喜久田ミニバスケットボール  
親善大会

平成26年2月11日(水)・喜久田小学校体育館(郡山市)



あのときの感謝の気持ちを！

東日本大震災後、福島県ではスポーツの活動ができなくて子どもたちは辛い思いをしていた。そこへ他県のチームが活動の手を差し伸べてくれたことで、団員たちはやっと思いっきりバスケットボールをすることができた——そんな当時の感謝の気持ちを伝えたいという関係者らの思いに、元気になった福島も見えてもらおうとの思いを合せて、お世話になったチ



しかし、開会式が終わりいざ試合が始まると選手たちの顔は真剣そのもの、懸命にボールを

ムを招いて開かれたのがこの大会です。2月といえば雪の降る季節、招かれたスポーツ少年団の団員たちも開催を心配していたようでしたが、当日は無事会場に到着。チームを迎えた子どもたちと関係者らは、待ちわびていた再会に元気よく声を掛けあつたり握手をしたり、約260人となった参加者らの気持ちはすぐに一つに溶け合いました。

競技方法…県内外の団体8チーム  
によるトーナメント戦

- 【優勝】ノーストリル中央台(いわき)
- 【準優勝】松前台(茨木県)



試合に出場できない選手にも  
「チャンス」を！

追いかける気迫のプレーの連続に、応援の保護者たちも声が枯れるほどの大きなエールを送っていました。

普段なかなか試合に出場することのできないちびっこ選手にも1位を取るチャンス——ということでも会場が盛り上がったのが、午後から行われたフリースロー大会です。保護者やチームメイトのいつにも増しての大きな声援を受けてフリースロー戦に臨んだ選手たちは、一投入魂のシュートを競い、実戦の緊張感を味わっていました。

工作教室風景



はやぶさ2を支援する会津大学のパネル(手前)

ち上げられる「はやぶさ2」の予定を「オリンピックの年に帰還！」と伝えていくことで、宇宙を知らない方と専門家との懸け橋になり、裾野を広げられたらいいなと願っています」と今後の活動について話してくれました。

平成23年に設立された「会津そらの会」は現在の会員数は11人。小惑星探査機「はやぶさ2」の偉業を広く知らせ、世界に誇れる日本の技術が積み重ねられた歴史、技術者の情熱を学び、子どもたちと市民や企業を勇気づけ、お互いが連帯し発展することに寄与することを目的として活動しています。

また大会後の表彰式では、技術の上手下手というのではなく、日々の練習を努力する姿や試合中の行動から表彰選手が選出されました。主催者である喜久田ミニバスケットボール少年団の特別規定によるこの優秀選手選出でしたが、思いがけない表彰にうれしさのあまり泣いてしまう子どもも出現。ほかの受賞選手もほとんどが初めての表彰だったようで、その喜びを見守っていた保護者や観戦者からも熱いものが流れ出し、会場は親善大会のフィナーレにふさわしいあたたかさでいっぱいになりました。

大会を終えた代表の伊藤忍さんは「お世話になった方々への感謝の気持ちで開催しましたが、スポーツを通して子どもたちがこのようにいきいきと活動・交流できることが何よりも喜ばしいことです。子どもたちの笑顔を見るのができて嬉しかったです。そして、参加いただいた各スポーツとの友情がいつそう深まったこと、指導者の方々の心遣いにとっても感謝しています」と大会を振り返っていました。

喜久田ミニバスケットボールスポーツ少年団は、ミニバスケットボールを通して子どもたちの健全育成を図りながら団体スポーツという組織の中で友情をばぐくみ、団員1人1人の自立という成長を図ることを目的として、平成13年4月に設立されました。現団員数25名。